

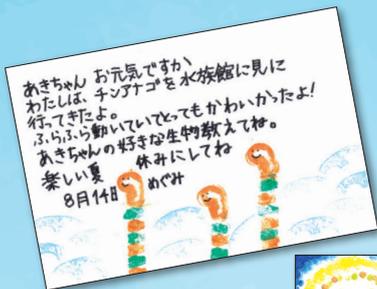


双方向同期型

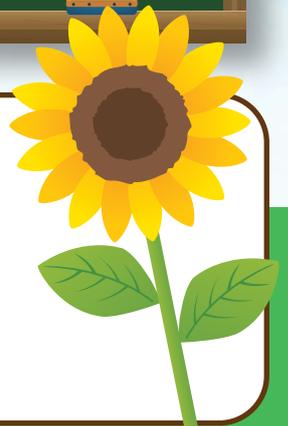
©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぼすくまは日本郵便のキャラクターです。



夏のおたよりの書き方 指導書



- 1. 対象学年 中学年 (3・4年生)
- 2. 配当時間 1時間 *実態に応じて実施する。
- 3. ねらい
 - ①夏のお便りの書き方について知る。
 - ②夏のお便りを書く練習をする。
 - ③実際にはがきに書き、投函する。



手紙の書き方体験授業

※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
0~2	今日はこの「手紙の書き方 小学校3、4年生用」のテキストを使って、学習します。 そして、学習した後に、実際に夏のお便りを書いてみます。 テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。 使うものをたしかめていきます。 同じものを先生に見せてください。	Google Meet や Zoom で児童がミーティングに参加していることを確認する。 テキスト、はがき、筆記用具を見せる。	
2~5	画面の絵を見ましょう。 今年の夏、みなさんは何を楽しみたいですか？ 花火、虫取り、海水浴…他にもたくさんあります。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。 2、3人指名して確認する。	
5~7	色々な夏のお便りが書かれています。 どんなお便りを書きたいですか。 はがきに書いて、伝えたい人に送りましょう。		
7~9	6ページを開きます。 切手の4「夏のお便りの書き方」 7月7日、小暑から 8月7日、立秋の前日 までに出す夏のお便りを「暑中見舞い」といいます。 8月8日の立秋からは「残暑見舞い」になります。 うすい字をなぞりましょう。	書けているかどうか、画面で確認する。	
9~10	江戸時代の「暑中見舞い」について書かれています。 豆知識を読みましょう。 「暑中見舞い」は、お便りではありませんでした。	読んでいるか確認する。 ミュートになっていないか確認する。	
10~12	ほかにもいろいろな夏のお便りがありますね。 だれにどんなお便りを送っていますか。 テキストのはがきを読んでみましょう。 QRコードから、ほかの夏のお便りも見ることができます。	各自で読ませても、指名して読ませてもよい。 準備し、QRコードからの作品は教師が見せてもよい。	
12~14	あなたはどの絵をかきたいですか。 ○で囲みましょう。 QRコードから、ほかの絵を見ることができます。	○で囲んだことを画面で確認する。 どの絵を選んだか、発表させてもよい。 QRの絵は教師が紹介してもよい。	
14~15	7ページ、「暑中見舞いの文章の書き方」 はがきのうら面の書き方を覚えましょう。 お便りは、3つの部分に分けて書きます。	テキストの場所を画面で確認する。	

手紙の書き方体験授業

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
15~16	①前文、書き出しを読みましょう。 説明と手本を読みます。 季節のあいさつは大きめに書き、句点（。）は付けません。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
16~18	前文をテキストに書きましょう。 季節のあいさつをなぞり、続きを書きましょう。	書けているかどうか、画面で確認する。	
18~19	②本文を読みましょう。 説明と手本を読みます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
19~24	本文をテキストに書きましょう。 手本を参考にして書いてもいいです。	書けているかどうか、画面で確認する。 書けない児童にはアドバイスする。	
24~25	③末文、結びを読みましょう。 説明と手本を読みます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
25~27	末文をテキストに書きましょう。	書けているかどうか、画面で確認する。	
27~29	最後に、年号、季節を表す言葉、自分の名前を書きましょう。 年賀状に「元旦」と書くように、 暑中見舞いには「せい夏」、 残暑見舞いには「ばん夏」と書きます。 手本のように、少し下げて書きましょう。 その下に自分の名前も忘れずに書きましょう。	正しく書けているか、画面で確認する。	
29~40	それでは、本物のはがきに夏のお便りを書いてみましょう。 テキストを見ながら丁寧に書き写しましょう。 空いたところに夏らしい絵を描き添えると素敵なお便りになりますね。 表面の宛名の書き方は テキストの10ページ、11ページに出ています。 書けたらポストに入れてやり取りを楽しみましょう。	書けない児童には、アドバイスし、書き写しの時間をとる。 書けたかどうか画面上で確認する。 授業の感想を交流させる。	

はがきの表面『あて名の書き方』は「手紙の書き方」授業用コンテンツのページにありますのでそちらをご活用ください。